

1 この科目の構成について

教 科	芸術科	科 目	デザイン	単 位	3単位
対象コース	美術コース	対象クラス	2年7・8組		
使用教科書	高校生の美術2（日本文教出版）				
使用副教材					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
① 色彩計画の学習 ② 画面構成の学習 ③ 情報を調査、収集して整理する学習。情報を視覚的効果を高めて伝達する学習 ④ デザインの使用目的を明確に意識し、コンセプトを持った表現	
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
「コンクール作品」（5月連休課題・夏期休業課題） 「青森県南地区観光ポスター制作」青森県南地区と岩手県北の観光名所、祭り、名産物等を取材し、取材した資料を基にポスターをデザインする課題。取材する力、情報の整理能力、視覚伝達能力を養う。 「コンクールポスター」デザインコンペ「デザイングランプリTOHOKU」へ向けた作品制作。テーマは9月に発表。 「モチーフ構成」（専攻別選択課題） 「CIデザイン」（専攻別選択課題）架空の企業、団体を想定し、新しい商品を考案する。そのコンセプト、シンボルマーク、タイポグラフィ、パッケージ、包装紙などを総合的にデザインする ■後期からデザイン系と絵画系（油彩、彫刻、日本画等）に分かれ、より専門性の高い課題を実習する	
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
(1) 学校 主に授業時間内で実習し、放課後等、課外時間も有効に使って学習する	
(2) 家庭 夏期休業と冬期休業に出題されるコンクールに向けた課題の制作	

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
完成した作品によって評価する。 技術的、創造的に優れた作品を評価するほか、完成するまでの過程、取り組みの姿勢を見る。各自の力量に合わせた努力度、熱心さを加味し、平常点として評価に加える。	
評価における定期考査の割合	
0%	

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
(1) 関心・意欲・態度 課題に取り組む意欲、態度	
(2) 思考・判断 課題を理解し、目的を持って思考する力、アイデア	
(3) 技能・表現 構成力、色彩感覚、表現力、描写力	
(4) 知識・理解 色彩論、図学製図を応用した制作、CG技術の向上	

5 この科目の学習計画について

年間学習計画				—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—				重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	思	技	知	関	思	技	知
1	5	「ポスターの制作」	<p>■「コンクール出品ポスターの制作」 (5月連休課題・夏期休業課題) 各コンクールに向けたポスターを制作する。 画材、用紙サイズは選択したコンクールの要綱に沿う。 目的を効果的に伝達するデザインを学習する。</p>	●	●	●	●				
1	5	「県南地区観光ポスター」	<p>■県南地区観光ポスター(27時間) 課題：テーマは県南地区の観光ポスター。県南地区と種市、久慈等 岩手県北の観光名所、祭り、名産物、話題等を紹介し、観光客を引 きつけるポスターをデザインする。 ◇評価の観点 1) 内容がしっかりと伝達されて、目的を果たしているデザインか (分かりやすく伝える、インパクトを与えてアピールする) 2) 構成力が優れているか (図、文字等の配置、構図を十分に検討する) 3) アイデアが斬新であるか(既存のものに類似せず、新鮮である) 4) 色彩感覚が優れているか (色彩論を応用し、明度、色相、彩度等を考えて計画する) ■A2サイズ縦で制作(420mm×594mm) 画像解像度200Pixel/inch ■キャッチコピーを考えて入れること。(コピーのセンスも重要) ※写真に文字を入れただけの、ありきたりの作品にならないように 注意。 ■評価の観点 ①内容 1) 情報収集力：細部に至るまで正確に情報を収集できたか 関係資料の収集なども充実している 2) 分析力：取材した資料を分析し、的確に把握している 3) 伝達力：分かりやすく、簡潔な表現でまとめられている ②デザイン 1) レイアウトが読みやすく、美しい 2) 目的と内容に合ったデザインが成されている 3) 写真や見出しの配置、フォントの選定が適切である 4) 色彩計画が良い 5) 興味を引きつける工夫がある</p>	●	●	●	●				
2	9	■コンクールポスター	<p>■コンクールポスター(20時間) 例年 11 月上旬に出品するデザインコンペ「デザイングランプリT OHOKU」へ向けた作品制作。テーマは9月発表の要項に準ずる。 画材自由。サイズB3.</p>	●	●	●	●				
2	11	■専攻別課題 「モチーフ構成」	<p>■専攻別課題 「モチーフ構成」(24時間) 共通のテーマを設け、平面構成を行う。情報を分かりやすく伝達す るための効果や対比を習得し、構成力、色彩感覚を学習する。 道具の扱いを習得し、精度の高い作品を目指す。 ■条件 B3サイズ/ケント紙水張り ■評価基準 テーマに対してアプローチが正しい判断であるか。 効果や対比が的確であるか。 丁寧な仕事運びが為されているかどうか。</p>	●	●	●	●				

3	1 ～ 3	<p>■専攻別課題 進級制作「C Iデザイン」</p>	<p>■専攻別課題 進級制作「C Iデザイン」（49時間） B2サイズ、縦、CG</p> <p>C I＝コーポレート アイデンティティ 会社の個性・目標の明確化と統一を図り、社内外にこれを印象づけるための組織的活動。デザインという視覚的要素の他にも、企業理念や企業行動などあらゆる面を含めた企業イメージの統一を図り、他社との明確な差別化をしていく企業活動。</p> <p>架空の企業、団体を想定し、新しい商品を考案する。 そのコンセプト、シンボルマーク、タイポグラフィ、パッケージ、包装紙などを総合的にデザインする。 （作例：食品、玩具、家具など）</p> <p>完成後にデザインのプレゼンテーションを行う。</p> <p>道徳教育を実施</p>	●	●	●	●
---	-------------	---------------------------------	---	---	---	---	---